

---

優

美雪

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

優

### 【Nコード】

N9314B

### 【作者名】

美雪

### 【あらすじ】

届かない想いは、自らを縛るオリになる。抜けられないアリ地獄。

お前可愛い奴やなあ

それがあの人の口癖だった。

いわれる度に顔を真っ赤にする私を面白そうに眺めて笑いながらまた言う。

ほんまお前可愛いわ

お前見てるとなあ、なんでもしてやりたなんねん。妹みたい。てか  
まじ妹にそっくりや。お兄ちゃんって呼んでみ？

馬鹿にしてる、とふくれてみせながら、考えてたことは一つ。

お兄ちゃん妹を好きになってくれたりはしないんだろうな。

色素の薄い瞳が綺麗でついついみとれていたら、不意に目が合った。

ん？どした？

優しく問いかけられて何故だか涙が出そうになった。

ああ。あたしはこの人が好きだ。

ぼんやりとして何も言わない私を少し困ったような顔でみつめると、  
頭を軽くなでてくれた。

しんどいことあったらなんでもいいや。可愛いお前のためやったらなんでもしたる。

『ほんまになんでもしてくれん？』

それは言葉にしちゃいけなかった。  
知っていたのに。  
ずっとずっと上手くやってきていたのに。

もうあの人は私を可愛いと言ってはくれない。  
頭をなでてもくれない。それでも辛い時は誰より早く気付いて、そ  
っと支えてくれる。

そんな優しさが私を辛くさせることも、きっと知っている。  
知りながらも冷たくすることなんて出来ない人だ。  
ずるいのか優しいのかもわからないけれど。

ただ一つわかること。

あたしはあの人が好きだということ。  
優しくされる度に辛くて辛くて、もっとあの人の優しさが欲しくな  
る。

抜けられないアリ地獄にはまりながらも、あたしはまたあの人の声

が聞きたくなる。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9314b/>

---

優

2010年11月23日16時53分発行